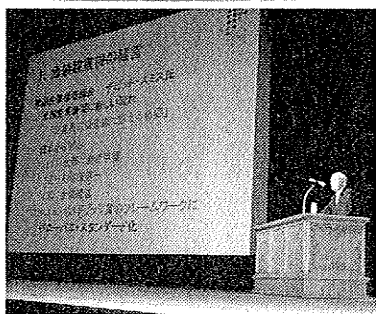


## 金融危機以降の内部統制のあり方を論議

新日本有限責任監査法人  
法人がCSRセミナー

新日本有限責任監査法人（加藤義孝理事長）は、東京都千代田区の日比谷公会堂で「2009理念経営の実践とCSR（企業の社会的責任）」と題するセミナーを開催した。写真。セミナーは世界金融危機以降の経済情勢での、コンプライアンスや内部統制のあり方が論議となり、形式先行の内部統制が企業活動の柔軟性やセンシティブティの障害になっているという「反省」が目立った。これからの



時代、ますます経営理念や倫理が重要になることを確認した。

講演は、元パナソニック副社長の平田雅彦ユニチャーム監査役が「経営理念を軸とした経営」、萩原浩朗経済産業省経済産業政策局産業組織課長が「持続的企業経営のかたち」、高巖京大経営管理大学院教授らの「組織を変えるミッション志向の経営」、大久保和孝新日本有限監査法人CSR推進部長の「理念経営が企業を再起させる」というテーマで4時間半にわたって行われた。

平田監査役はパナソニックでの2001年の経営改革を解説しながら「何のための仕事か、企業は何のためにあるのか」という経営理念を軸にし、それで従業員やお客さま、社会から共感を得ることが必要で、そのポイントはほかより優れた品質、コスト、サービスであり、利益と「世のため人のため」をいかに結びつけるかである」と述べた。